



# 年頭のごあいさつ

熊本県国民健康保険団体連合会  
理事長 幸山政史



明けましておめでとうございます。健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

皆さま方には、平素から国民健康保険事業の運営にご尽力いただき、心から敬意を表しますとともに、本会の事業運営につきましても、多大なご支援とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

ご承知のとおり、国民健康保険制度は、創設以来わが国が世界に誇る国民皆保険体制の基盤として中核的な役割を担い、地域住民への医療の提供と健康の保持増進に寄与しております。

しかしながら、国保の財政運営は、高齢者や低所得者の多くを被保険者として抱えるという構造的な問題に加えて、近年における本格的な高齢化の進展や疾病構造の変化、医療技術の高度化等の要因により、医療費は年々増大化の一途をたどっており、経済の低迷等の影響による保険料（税）収入の低下に歯止めがかからず、より一層厳しさを増してきております。

国においては「社会保障と税の一体改革」の一環で、国民皆保険を堅持し、医療保険制度を将来にわたり持続可能なものとするため、今後の制度の方向性や財源など多岐にわたり論議されました。しかしながら、国保関係での財政基盤強化策 2,200 億円の財源確保や、消費税増税法案については成立を見たものの、その他の大部分は「社会保障制度改革国民会議」での議論に委ねられたところであります。

保険者を支援する立場にある本会では、このような国の動向を注視しながら、今年も本会の基幹業務である診療報酬審査支払事業について効率的な審査体制の構築を図るとともに、査定率の向上に努めてまいります。また、国保中央会が新たに構築しました KDB（国保データベース）を活用した生活習慣病対策の支援を実施するなど、より一層の保険者サービスの拡充に努めてまいりたいと考えております。

保険者の皆さまにおかれましては、引き続き本会に対しましてご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、国保にご加入の皆さま方、お一人おひとりのご健勝とご多幸を心から祈念申し上げまして、年頭のごあいさつといたします。

